

週報



<テーマ> 違いの中にキリストを告白する群れ
～ 響き合う礼拝とひろば ～

<年間テーマ> 出会いと対話に日々新しくされて

<聖句> マルコによる福音書2章22節

また、だれも、新しいぶどう酒を古い革袋に入れたりはない。そんなことをすれば、ぶどう酒は革袋を破り、ぶどう酒も革袋もだめになる。新しいぶどう酒は、新しい革袋にいれるものだ。

＜神戸教会は2020年に宣教開始70周年を迎えました。＞

「聖霊の働きを共に喜ぼう」

今日の聖書箇所は、マタイ9章32-34節とよく似た話です。イエスさまの元に、悪霊に取りつかれて口のきけない人が連れて来られました。彼は癒されたとき、口が開け会話ができるようになり目が見えるようになりました。ところがそれを見てファリサイ派の人々は、イエスさまの癒しの働きが悪霊の頭ベルゼブルの力によるものだとイチャモンをつけたというお話です。ここからわかることは、聖霊の働きとは人を自由へと導くものであり、悪霊は人を縛り付けるものであることです。象徴的ですが、ファリサイ派の人々の「レッテル張り」のような言葉こそが、悪霊の働きに他ならないのです。

今日の箇所では悪霊に取りつかれた人は目も見えません。そしてファリサイ派の人々は見えるようになったこの人を受け入れようとしていません。イエスさまの言葉は私にはこのように響きます。「わたしが悪霊の頭の力で悪霊を追い出しているとしたら、あなたはどうか。私が悪霊を追い出しているのであれば、神の国は来ているのではないのか。神の国が来るのはあなたがたも願うところではないか。それなのになぜ共に喜ばず、仲間割れをするのか。」言い換えれば、彼らは見たことも聞いたことも信じることができず、まさに悪霊に束縛された人のようです。しかし反対に聖霊は解放を与えるのです。今日の聖書は私たちをも思い込みから解放してくださり、目の前で起きている「聖霊の働き」を共に喜ぼうと招いてくださるのです。

【西脇慎一】

日本バプテスト連盟 神戸バプテスト教会 牧師 西脇慎一

〒650-0003 神戸市中央区山本通1-7-27 TEL078-231-7187 FAX078-221-5252

ホームページ: kobe-church.com 事務局Eメール: jimukyoku@kobe-church.com

主日礼拝	毎日曜日	午前10:30~11:45
共育のひろば	毎日曜日(第3週除く)	午前11:45~12:40(当面お休みです)
	(幼児クラス・小学生クラス・中高生クラス・成人クラスA・B・C)	
幼稚園C・S	毎日曜日	午前9:00~10:20(当面お休みです)
ひまわりひろば	毎日曜日	午前9:00~10:20(当面お休みです)
月曜ひろば	第1・3月曜	午前9時半~11時(当面お休みです)
祈祷会	毎水曜日	午後7:00~8:15
	第2・4水曜	午前10:30~12:00(当面お休みです)

教会についてのお問い合わせ、バプテスマの希望や他教会からの転入など、
ご相談のある方は牧師、又は教会事務局までご連絡ください。

◆朝 10 時と夜 8 時に共にお祈りの時を持ちましょう。

- 1、新型コロナウイルス感染症が一刻も早く収束に向かいますように。第四波からの守りのために。
- 2、感染した方々の癒しとご家族の守りと、緊張の中診療に当たられている医療従事者を始め、人々の日常生活を支えている多くの方々の守りのために。
- 3、コロナ禍で経済的な困難の中にいる個人事業主、非正規雇用の方々の守りのために。
- 4、子どもたちの心の守りと成長の祝福。そしてご家庭の守りのために。特に新しい学校に入学された方々の学びのために、新しく働き始められる方々の歩みの祝福のためにお祈りください。
- 5、光の丘幼稚園の園児・保護者・教職員の守りのために。主の守りと導きをお祈りください。
- 6、困難の中にいる方々と共に生きるすべてのキリスト教会と信徒の信仰の守りのために。
- 7、ミャンマーで起きている市民への弾圧からの守りのために。自由と平和が実現しますように。
- 8、兵庫県に三度目となる緊急事態宣言が発出されました。すべての人の心と体の健康の守り、生活の支えのために共に祈りましょう。

【連盟・連合・他教会の祈り】

◆日本バプテスト連盟の全国 318 の教会・伝道所のために。また関西地方教会連合の36の教会のために。すべての教会がコロナ禍で労苦しておられます。特に無牧師の神戸新生教会のために。4 月より宝塚教会に着任された南雅夫牧師と宝塚教会の歩みの祝福と守りのために。また休会中の神戸国際、大阪旭のためにお祈りください。

交読 「祈り：詩編四二編より」

潤れた谷に鹿が水を求めるように、神よ、わたしの魂はあなたを求める。

神に、命の神に、わたしの魂は渴く。

いつ御前に出て、神の御顔を仰ぐことができるのか。

昼も夜も、わたしの糧は涙ばかり。

人は絶え間なく言う、「お前の神はどこにいる」と。

わたしは魂を注ぎ出し、思い起こす、喜び歌い感謝の声をささげる声の中を、

祭りに集う人の群れと共に進み、神の家に入り、ひれ伏したことを。

なぜうなだれるのか、わたしの魂よ、なぜ呻くのか。神を待ち望め。

わたしはなお、告白しよう、「御顔こそ、わたしの救いと」。

わたしの神よ。わたしの魂はうなだれて、あなたを思い起こす。

ヨルダンの地から、ヘルモンとミザルの山から、

あなたの注ぐ激流のとどろきにこたえて、深淵は深淵に呼びわり、

砕け散るあなたの波はわたしを越えて行く。

昼、主は命じて慈しみをわたしに送り、

夜、主の歌がわたしと共にある。

わたしの命の神への祈りが。

わたしの岩、わたしの神に言おう。「なぜ、わたしをお忘れになったのか。

なぜ、わたしは敵に虐げられ、嘆きつつ歩くのか。」

わたしを苦しめる者はわたしの骨を砕き、

絶え間なく嘲って言う、「お前の神はどこにいる」と。

なぜうなだれるのか、わたしの魂よ、なぜ呻くのか。神を待ち望め。

わたしはなお、告白しよう。

「御顔こそ、わたしの救い」と。

わたしの神よ。